



ロータリーに輝きを

2014~2015 年度 RI 会長 ゲイリー C.K.ホアン
 RI 第 2730 地区ガバナー 田中 俊實
 鹿児島市内分区ガバナー補佐 上田 耕平・小園 弘巳

週報

鹿児島東南ロータリークラブ

会長 井料 長敏 副会長 飯野 和男 幹事 川崎 芳明
 (例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10
 サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020
 (事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10
 サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622
 E-Mail info@tounanrc.jp ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2192 回 No.6
 平成 26 年 8 月 5 日 (火)
 本日のプログラム
 会員増強フォーラム
 別府委員長

8 月 お誕生日おめでとうございます。
 堀之内 弘昭(2 日) 上園 哲生(7 日)
 坂之上 忍(24 日) 東 則秋(31 日)

8 月 結婚記念日おめでとうございます。
 上園 哲生(8 日)
 東 則秋(24 日)

第 2191 回例会報告

会長挨拶

会長 井料長敏

みなさんこんにちは。2 週間以上も雨が降らないで毎日暑い日が続いています。本日も 35° 以上になるかと思えます。人々や植物もへとへとに疲れています。熱中症に十分に注意して水の補給を行い、美味しい食事を食べて元気でこの夏を乗り越えましょう。

本日は第 2730 地区田中俊實がバナーの公式訪問であります。先ほどまで田中がバナー、上田がバナー補佐、井料、飯野会長バナー、川崎幹事との懇談会がありました。小さなクラブであります色々頑張っていると褒めの言葉がありました。これから例会、記念写真撮影、クラブフォーラムとなります。渡海谷会員、中馬会員及び林会員にロータリーに入会して良かったことについて発表があります。田中がバナーよろしくご指導をお願い申し上げます。

ゲスト・ビジター紹介

がバナー 田中 俊實様
 鹿児島市内がバナー補佐 上田耕平様

会務報告

- ロータリーの友 8 月号及びリージョンを配布致しております。
- 8 月 12 日 (火) は、クラブ定款に基づき休会となっております。
- 鹿児島西南 RC 合同観月家族例会のご案内です。9 月 30 日 (火) は、18 時 30 分～サンロイヤルホテルにて行います。8 月中旬頃から回覧をスタート致します。
- 地区大会のご案内です。10 月 17 日 (金)～19 日 (日) の 3 日間、鹿屋市文化会館等で行われます。来週から回覧をスタート致します。登録締切は、8 月 25 日 (月) がバナー事務所必着です。

出席報告

会員数	29名	前々回出席者	16名
出席免除	1名	メイクアップ	2名
出席会員	19名	出席訂正率	69.23%
出席率	67.85%		

スマイル報告

☆川崎芳明君－田中がバナ公式訪問ありがとうございます。よろしくご指導お願いします。

☆小牧二郎君－田中がバナ、上田がバナ補佐の公式訪問を歓迎します。

☆松元保君－長い間休んですみませんでした。今度共よろしくお願ひ致します。

☆林高宏君－ウィーンと映画「サント・オブ・ミュージック」の世界に行ってきます。

☆飯野和男君－田中がバナ、上田がバナ補佐本日はよろしくお願ひ致します。暑い中本当にご苦勞様です。

☆上原勝君－がバナの公式訪問ありがとうございます。田中がバナ・上田がバナ補佐どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

☆平塚五郎君－田中がバナ・上田がバナ補佐の公式訪問ありがとうございます。

本日計 18,000円 累計 76,000円

RI 財団寄付

井料長敏会長－2730 地区田中がバナの公式訪問を大歓迎致します。よろしくご指導をお願い申し上げます。

ロータリー財団に寄付致します。

102,000円

本日のプログラム 田中俊實がバナ アドレ



1. 「ありがとうロータリー」の歌について、説明致します。この歌の元歌は、1月サテイエゴでの国際協議会の時、開

会前に皆で歌った曲に日本語で歌詞を私と同期の静岡のがバナ岡本一八氏がつけた歌です。「富士の高嶺見つめて地に足を踏みしめ」のところを高い目標に向かって一歩ずつ前進しましょう。と読みましょう。全体的にとっても良い歌詞だと思います。特に「ありがとうロータリー出会えた奇跡」のところが好きです。

2. 今年1月、サテイエゴの国際協議会でゲリー・ホフ会長は、ニュースを見るたびに、助けを必要としている人々が世界にいかにか大勢いるかということの思い知らされます。私たちロータリーの仕事は、世界のニュースを少しずつ、より良く、より明るく、希望にあふれたものにする事です。ただ座って暗闇を呪うよりも、「ロツクをともしたほうがいい」という格言からロツクを灯すのがロータリーです。私が一本、あなたが一本、こうして世界120万人全員がロツクを灯します。力を合わせれば世界を光で輝かせることができます。すなわち、「ロータリーに輝きを」と与えることができます。さらに、修身齊家、治国平天下を述べられ、「超我の奉仕の理念によって自らを律しますが、奉仕において高い目標を掲げるためにはロータリー自体に対する手入れを怠らず、ロータリーファミリーを拡大していくことが必要です」と説かれ、2014-15年度には、ロータリーの奉仕を人々と分かちあい、クラブをより強力なものとし、地域社会で、世界でロータリーの存在感を高めることで、「ロータリーに輝きを」もたらして下さい。ということで、「ロータリーに輝きを」というテーマを発表されました。そして、次の3点を強調されました。

(1) 本ロータリー年度会員数130万人という目標を達成することにより、「ロータリーを輝かせて」下さい。

(2) ロータリー110周年を記念してボリヲを撲滅して、「ロータリーに輝きを」もたらし、歴史に1ページを刻みましょう。

(1人3ドルと地区DDF×20%のボリヲ寄付が期待されています。)

(3) ロータリーデー(7～12月)を成功させて「ロータリーに輝きを」を実現させましょう。2014-15年度34,000を超えるクラブを強化し、「ロータリーに輝きを」もたらせば、ロータリーの奉仕で世界に輝きをもたらすことができるでしょう」と結ばれました。

ゲリー・ホフ会長の「ロータリーに輝きを」のテーマを実践するのは誰でしょうか。そうです。我々一人一人のロータリアンです。

一人一人が強く輝きましょう。その為には、ロータリアンはまず超我の奉仕の理念により、自らを律しなさい。つまり、ローターの目的を受け入れ、実践することにより、ロータリアンとしての自覚と誇りを持ちましょう。そして地域や国際的な奉仕実績にも自信と誇りを持ちましょう。世界のニーズの変化によるローターの組織とやり方の変化に伴い、戦略計画、CLP等を取り入れることにより、クラブの活性化を図り、地域で、世界でローターを輝かせましょう。その上で、

①会員増強 120万人→130万人(108%)これに従うと、計算上 $2,300 \times 108\% = 2,484$ 人 (+184)、チャレンジしましょう。

②ローター 110周年を記念して、ボランティア撲滅とローターデーを組み合わせてイベントをする。

③クラブにおいて、RI 戦略計画と CLP の本格導入を奨励する。

④以上のために、My Rotary (www.rotary.org/myrotary/ja) から開ける「ロータークラブ・セントラル」は、クラブにおける戦略計画の3つの主要な分野(会員増強、奉仕、ローター財団への寄付)の目標に向けた進捗や活動状況を確認できるオンラインのツールです。活用しましょう。

皆さん、2014-15年度「ローターに輝きを」のテーマ実現に絶大なる御協力をお願い致します。世界のローターの中で職業奉仕と奉仕実績を高いレベルで実行できている地区を目指しましょう。

3.シドニーでの2014年ローター国際大会では、ロータリアン、ローターファミリー(学友・IA・RA)、ゲストWHO事務局長補佐ブルース・マイルド氏等、すばらしい方々のスピーチを聞くことができた。特にボランティア、財団、奉仕活動に絞った内容でした。ロータリアンとしての心磨き、ローターの歴史等の発表はなく、大変淋しい気がした。今やRIは理論派より奉仕行動派が主流で、特にボランティア撲滅、世界の弱者救済と青少年奉仕に力点が置かれ、その為の会員増強と寄付増進が求められています。我々2730地区のロータリアンは、ゲイリー・ホソ会長の修身齊家、治国平天下の言葉に支えられ、職業奉仕と奉仕実績の両論を高いレベルで達成して「ローターに輝きを」もたらしましょう。



記念写真撮影



クラブフォーラム

「特別なプロジェクトについて」 渡海谷宗宜会員



私のような若輩者が壇上に上がり、発表させていただくのは大変恐縮ですが、先日、井料会長よりご指名いただきましたので、お話しさせていただきます。

それでは、鹿児島東南ロータークラブの活動状況の報告として、先日4/20に開催したイベントを紹介させていただきます。

第18回新世代のためのローター会議「勇気を出そう KIZUNA BLOOD 未来の安心を みんなの絆で」と題し、若年層への献血啓発イベントを開催しました。まず、何故このような活動をしたかの経緯としましては、鹿児島県における1年間に輸血を受ける人が約28,000人います。そして、鹿児島県における輸血を受ける人の割合と年齢ですが、約80%が50歳以上の高齢者です。10年前と比べると10代~20代の献血者の減少率が約40%となっており、このままだと、2027年には約101万人分の血液が不足すると言われています。

そこで、若い世代への献血意識の向上を図ろうと、従来型の街頭の献血キャンペーンの応援ではなく、若者に絞った献血推進イベントを開催することによって、未来の血液不

足を解消することを目的としました。そして、若い世代に献血の重要性を知っていただくために、ロータリークラブと協力して、若者が参加しやすいイベントを開催し、積極的なアピールを図りました。メインイベントとして、「KIZUNA CONCERT」を開催しました。当初、このイベントをするに当たり、山田会員と大石会員で企画を練っていました。そこで、大石会員より、鹿児島の吹奏楽グループは定期演奏会等しか、演奏する機会がなく、吹奏楽団体の披露の場を作る事により、鹿児島の吹奏楽をしている若者のニーズを満たすことにも繋がるのではないかと、この企画を立案しました。吹奏楽イベントをするにあたり、ただの吹奏楽イベントではなく、このイベントをきっかけに献血に興味の無い若者に献血というものを知ってもらおうと、ロータリークラブに企画をお願いしました。若い世代の方が、おもしろく、若者向けのイベントができると考え、そして、ロータリーの周知、そして、会員増強に繋がれば、なお良いと思い、鹿児島東南ロータリークラブをはじめ、2730 地区前地区のロータリークラブにも協力いただき、企画を考えていました。4月20日のイベント日時は決まっております、どのようにしたら、献血の啓発をできるかと考えなおしました。山田会員が日赤の吉田所長を通じ、鹿児島県赤十字血液センターの職員から若い社員8人を抜粋し、「チーム8功」を作りました。そこから、山田会員、迫田会員と私、そして、ロータリークラブ、日赤で、このイベントを成功させようと、企画を練り直しました。日赤の職員からは、今までのたくさんの経験から、様々な案がたくさん出てきました。出来るもの、出来ないもの、すべてを踏まえて考え直しました。そこで、中高生の吹奏楽部を呼ぶよりは、献血できる世代である社会人吹奏楽団を呼ぶことになりました。そこで、大石会員が鹿児島県吹奏楽連盟の原田理事を通じ、各楽団へ出演の交渉依頼をする許可を頂きました。そこから、一斉に各楽団へ、案内文書をお送りし、出演の依頼をしましたが、反応がありませんでした。大石会員が最初に話しをした、原田理事の所属する「一期一会」という楽団1団体の参加を頂いてから、一向に返事がありませんでした。ロータリークラブが他の団体に一斉に声掛けしましたが、出演してくれる楽団はいませんでした。そこで、鹿児島国際大学の一番大きなボランティアサークルの主將を通じ、吹奏楽団へ参加の依頼をし、出演いただくことが

できました。吹奏楽団だけでは、イベントとして、盛り上がり欠けると、頭を悩ましていると、日赤の方から鹿児島大学アカデミックサークルはどうかと、話しが出て、そこから参加を頂く事になりました。それから、各楽団との打ち合わせを細々と進めていると、上原会員がみんなで協力しようと、話しをしてくださいました。私も、一番年下で中々、お願いが出来ないときに上原会員が数人集めて話しをしてくださって、本当にありがたく思いました。それからは、各会員に色々と無理なお願い等もしましたが、皆さんが快くこの私の話を聞いてくださり、本当にありがとうございました。そこからも、各楽団、日赤と打ち合わせをしていく中で、たくさんの壁が出てきましたが、ひとつずつ解決し、どうにかイベントを終わらせることができました。会員皆様のご協力によるものです。本当にありがとうございます。おかげさまで、当日の参加者はのべ約280人、献血バスへ行った方が約100名となりました。まだまだ微力ではありますが、少しでも献血という言葉が鹿児島の若者に触れてもらうことができたと思っています。ロータリークラブに実際に入会し、実際にイベントが出来たことを嬉しく思います。献血の啓発活動は地区からの補助金事業として、3年間活動することになっております。今回は鹿児島中央駅ミュージアムが10周年を迎えるということで、様々なイベントを行います。そこで、FM鹿児島が主催となって、フェスティバルのオーディションを開催します。そのイベントには約2000人の若者が集まるとのことで、今回はそのイベントに協賛し、献血啓発活動を行う予定です。

「素晴らしいロータリーとの出会い」 中馬敏之会員



1 入会

私が昨年の3月に鹿児島東南ロータリークラブに入会してから約1年4ヶ月が経ちました。この1年4ヶ月の間に主に鹿児島東南ロータリーの皆様ですが、素晴らしいロータリーと

出会うことができたと思っています。私は、ローラーに入会する前から身近にローラーが存在しました。私は今年7月これまで勤務していた法律事務所を独立し、新しい法律事務所を開設しましたが、以前所属していた法律事務所の所長がローラーであり、実は私が法律家になった当初からローラーに出会っていたということになります。ローラーが身近にいたことで、元々ローラーというものが必ずしも遠い存在ではなかったのですが、また現実的なものではありませんでした。そして、ローラー入会の大きな切欠となったのが、ある異業種交流会に参加したときに、そこでローラーと出会ったことでした。私が参加したその異業種交流会にはローラーが数名おり、その方々から自分がローラーであること、ローラーとして社会奉仕活動をしていることを聞かされました。いずれも会社の社長として活躍されている方々でしたが、社会奉仕活動の話を熱心にされている姿に感動しました。そしてローラー入会を勧められました。鹿児島東南ローラー入会は、まさにローラーとの出会い、そのローラーに刺激を受けたかです。

2 例会への参加

私が鹿児島東南ローラークラブの例会に本格的に参加させていただいたのが、花見の夜間例会だったと思います。推薦人になっていただいた若松会員から紹介され、当時の会長だった上原会員からローラーのバッジをいただき、鹿児島東南ローラーの一員になれたことに感激致しました。また、花見の夜間例会が家族例会だったこともあってローラーの奥様方も出席されて楽しんでいる姿にアットホームな感じを受けました。ローラーの例会に参加したときの印象は、鹿児島東南ローラークラブがアットホームであること、会員との親睦を図ることが大事であると感じました。実際、ローラーは、私にとって大変新鮮で、例会への出席だけでも刺激があり、ゲスト、ビジターの紹介や卓話など勉強になりました。特に、長年ローラーとして活動されてきた方々の卓話は、経験と努力に裏付けされたものであり、勉強になりました。まずは例会に出席することが、ローラーとしての活動の基本だよと教えていただきましたので、これからも可能な限り例会に出席したいと思っています。また、例会だけでなく地区大会等大きな行事に出席すれば、自分が所属するクラブ以外のローラーとも知り合うことができ、ローラーの輪を広げることが可能です、これは、ロ

ローラーの大きな魅力の一つだと思います。

3 新世代のためのローラー会議

ローラーの会議は例会の出席だけではないことを知りました。例えば、鹿児島市内分区分の10のローラークラブが主催し、ホストクラブが中心となって開催する活動がありました。今年の4月20日に行われた新世代のためのローラー会議のホストクラブが鹿児島東南ローラークラブだったこともあって、入会依頼初めて大きな活動に関わることができました。この会議では、近年鹿児島の若年者の割合が年々減ってきているに伴い鹿児島市内における若年者の献血が減少していること、平成23年4月から男性は17歳から400mlの献血が可能になったことから血液製剤の不足及び将来の血液不足を解消する目的で「勇気を出そう！KIZUNA BLOOD 未来の安心をみんなの絆で」とのテーマで献血の啓蒙と特に若年者の献血向上に力を入れました。会議の開催にあたり、鹿児島東南ローラークラブの会員はもちろん、ローラーアウト、鹿児島県赤十字血液センターの方々、鹿児島国際大学、鹿児島大学などの主演者などおおくの方々にご協力を得て素晴らしい会議を開催することができました。私自身もこの会議に関わることができたことはローラーとして貴重な経験をさせていただいたと思っています。

4 まとめ

私の中では「職業奉仕」という言葉が印象に残っています。ローラーは、職業を通して社会に奉仕するということです。まずはローラー一人一人が自己の従事する職業に励むことが第一と考えます。職業に懸命に励むことで地域社会の人々と関わり、社会奉仕にも繋がっていきます。私がそうだったように職業に従事していくことで自ずとローラーとの出会いにも繋がります。また、長年ローラーとして活動されている会員もおり、会員相互の親睦を深めていくことで、ローラーとしての経験や考え方に触れることができ、ローラーとしての素晴らしい一面を発見できると思います。私が接したローラーの方々は、ローラーとしての誇りを持ち、熱心に職業奉仕活動をされています。私自身が、懸命に職業に励み、ローラーの活動に参加することで素晴らしいローラーになれるのではとの期待があります。昨年度末の最後の夜間例会では、出席率メーキャップ100%で表彰された会員、長年ローラーに在籍し表

彰された会員、人一倍社会奉仕に励み表彰された会員がいました。鹿児島東南ロータークラブには、模範となる素晴らしいロータリアンがいますので、今後も親睦を深め、職業奉仕、社会奉仕を実践していきたいと思ひます。

「ローターに入って良かったこと」林高宏会員



税理士の林です。

クラブ活動要覧の35ページをご覧ください。この下から3番目に出てくるのが私です。3番目の若輩者ということになります。皆さん、今後共ご指導のほどよろしくお祈ひします。さて、ここに家内の名前が出てきます。不思議な話です。これはどこから探し当てたものなのでしょう。また、7月1日付けの週報には、7月20日結婚記念日としての記載があり、井料会長自らお祈ひの品を届けていただきました。ところが、私はこの日に心当たりがありません。家内には変な目で見られ不審に思われたものでした。我が家が家庭不和にならないよう、理由をご存知の方がいらっしやいましたら教えてください。よろしくお祈ひします。

さて、ローターに入って良かったことですが、概ね話は出尽くしました。こうなるとぶっちゃけ話しか残っていませんね。私は、いまだにそれを実感できないところです。週に一度、そこで一緒に飯を食うだけ、そのどこが面白いのでしょうか。最近では、皆さん方が私にどう話しかけてくださるか、私に皆さんの姿がどのように見えるかを毎週比較することにより、自分の精神状態のパフォーマー代わりにしているところです。このように入会して1年7ヶ月しか経たない私は、ローターの良さをまだ実感できる器にまでは育っていません。しかし、時間を重ねる内に、その器はどんどん大きくなっていくことでしょう。志ある先輩方の言動・立ち居振る舞いなどを見るうちに、それは自ずと育っていくものだと将来の自分に期待しています。皆さん方も、今後の私がどう育つか

は、皆さん次第であることをよく自覚しつつご指導をお願いしたいと思ひます。

(注) 結婚記念日の謎が解けました。私たちは、これからも忘れることのないようにと思ひ、海の日に入籍しました。私は法律家の端くれですので7月20日を、家内は結婚式をあげた9月6日を結婚記念日と思ひてきました。その後、ハッピーマンデー法ができ海の日は毎年移動することになってしまいました。それに伴って私はすっかり忘れてしまい、家内はもともとその認識はなかったこととなります。今回の件で、私たちが一度も結婚記念日を祝ったことがないことがバレてしまいましたね。(笑)

ガバナー所感

謝辞 飯野会長ほか



○公式訪問時の写真



中馬会員へクラブより事務所開所祝い贈呈



<ご連絡>

寶來会員より、アメリカ・ネマンス・クラブの妙田敏夫夫婦が8月17日より来鹿されます。8月19日(火)の例会に妙田敏夫さんが出席されます。

RI ホームページより ローター奨学生が国際協力の架け橋に
(前回の続き)



@ケア

同じころ、ミアスさんは、非営利組織 Engineers Without Borders (国境なきエンジニア、略称 EWB) のメンバーとしても活動しており、ケアの病院にきれいな水を提供するために、支援を募りたいと考えていました。そこで偶然にも、デビスさんのクラブが過去に EWB を支援した経験があることを知り、再びデビスさんと連絡を取るようになりました。結果的に、デビスさんが所属するロータークラブが、パートナーとして参加することに。デビスさん曰く、ミアスさんが既に2回の視察を行っており、ほかの参加者にローターンの妻をもつ医者が含まれていることを知って、安心して参加を決めることができたそうです。ミアスさんも、補助金プロジェクトでの協力を通じて、デビスさんとの友情を育むことができたと話します。

@ブラジル・アメリカ

そもそも、ミアスさんほどのような経緯でローター奨学生になったのか。ミアスさんは、ヒューストン大学の研究員として、

金属物質を除去するためのバイオフィルターについて研究を行っていました。そこでデビスさんから大学院生を対象としたローター奨学金についての話を聞き、申請期限が迫っていたものの何とか申請を済ませて、結果的に奨学生に選ばれました。しかし、研究員としての仕事も続けたいと考えていたミアスさんは、大学側と相談し、博士号の取得を目指して、ヒューストン大学とサハガ大学との共同研究プロジェクトを実施できるようになりました。

@カンガ

ミアスさんは最近、カンガで水プロジェクトの実施可能性を調査することを目的としたローターのチームリーダーに選ばれており、現在もローターとともにさまざまな活動を続けています。

RI ホームページより ホン会長、会員 130 万人を目標に



1976年にローターに入会したゲイリー C.K. ホン会長。当時は自分が国際ローターの会長になろうとは夢にも思っていなかったと言います。

そんなホン氏ですが、現在は本年度の会長に就任し、会員 130 万人を達成したいと抱負を語ります。「会員が増えるほど、私たちが支援できる人数も増えます。強固な会員基盤を築けば、それだけ豊かな地域社会づくりが実現されます」ローターを知ってもらうために本年度のテーマを「ローターに輝きを」とするホン会長は、ローターの公共イメージがもっと明るく前向きなものとなれば、自ずと会員も増え、ローターで長期的に活動する会員も増えると考えています。

ホン会長が、台湾、香港、マカオを含む地区でガバナーを務めた際は、19 の新クラブを誕生させ、アジア地域の会員増強に貢献しました。

今年は、クラブや地区に「ローターデー」の実施を呼びかけています。「ローターデー」は、ローターの活動を紹介する1日のイベントで、世界でもトップクラスの奉仕団体であるローターについてもっとよく知ってもらうことを目的としています。

「私たちが地域のためにどんな活動をしているか知ってもらおうのがローターデーのねらいです。友人、家族、近所の人を誘って幅広い参加者を集め、楽しいひとときを過ごしなが、イベントが終わる頃には皆がローターに入りたいと思うようなプログラムにします。地元の人に社会貢献の

現場を経験してもらうチャンスになります」会長は、できる限り多くの地域を訪問できるようにスケジュールを組み、所属クラブのある台北市をはじめ、アルゼンチン、刊、フランス、インド、イタリ、韓国、マレーシア、フィリピン、米国など 30 以上のローターデーを訪れる予定です。会長という荣誉ある役職を務められることに感謝しているというホン氏。またローターという特別な活動の場を意識して次のように話します。

「ローターには、ビジネスやそれぞれの活動で成功した会員が多く集まっています。しかし、真の“成功”はお金や権力ではなく、いかに恩返しをするかです。私自身も、ローターの会員となることで、困っている人たちを支援する機会が得られました。会長となった今、ほかの会員にもそうした機会を生かしてもらえよう、そして人びとに幸せをもたらせるよう、応援するのが私の役目だと考えています」

国際協力を助ける

世界の諸問題を解決する斬新なアイデアがいくつもある一方で、資金確保に苦戦し、実現に至らないこともあります。韓国、日本、中国のローター会員は、資金確保に大きく貢献しているものの、距離や言語の問題により、活動の協力相手を見つけるのが難しいとホン会長は指摘します。

「私はアジア地域出身の会長として、世界の活動を実際に見て、自分もプロジェクトに参加し、資金集めを助けたいと願っています。地区ガバナーとも連携し、クラブが海外の協力相手を見つけられるよう支援をしたいと思います。文化や境遇が異なっても、共通の目的のために協力ができる。ローターのような国際組織の魅力は、まさにそこにあります」

☆記帳メモキャップ受付			
8/12(火) 定款休会①		8/19(火) 外部卓話 永里様	8/26(火) 青少年奉仕委員会フォーラム 理事会 12:00～
月/日	クラブ	例会場	プログラム(△変更)
8/6 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	☆納涼家族会 18:30～桜島納涼船
	鹿児島西	山形屋	クラブ協議会
	鹿児島西南	ゆうづき	夜の例会
8/7 (木)	鹿児島東	山形屋	新会員卓話
	鹿児島北	レンゾラントホテル	クラブフォーラム
	鹿児島サザンランド	鹿児島東急イン	米山奨学生卓話
8/8 (金)	鹿児島	山形屋	定例夜間例会
8/11 (月)	鹿児島中央	山形屋	☆クラブ定款に基づき休会
8/12 (火)	鹿児島城西	鹿児島東急イン	クラブ定款に基づく休会